

② 反応液の組成

Quick Taq HS DyeMix	12.5 µl
ARCO (50 µM)	0.1 µl
BUTZ (50 µM)	0.1 µl
SKIR (50 µM)	0.1 µl
CRY1 (50 µM)	0.1 µl
CRY2 (50 µM)	0.1 µl
Template DNA	1 µl
滅菌精製水	11 µl

A. skirrowii、*A. butzleri*、*A. cryaerophilus* それぞれの DNA を送付するので、1 µl を反応液に加え陽性コントロールとする。

③ PCR 反応条件

<u>94°C</u>	<u>2 min</u>
94°C	30 sec
62°C	30 sec
<u>68°C</u>	<u>40 sec</u> × 30
68°C	5 min

④ 判定

アガロースゲル電気泳動を行い、以下のバンドが検出された場合、陽性とする。

641 bp	<i>A. skirrowii</i>
401 bp	<i>A. butzleri</i>
257 bp	<i>A. cryaerophilus</i>

6) 国立衛研への報告

PCR 陽性の結果が得られた際には通常検査での *Campylobacter* 属菌の検出結果とともに個人情報を除いた疫学情報を暗号化したメールにて連絡し、また後日、菌株を送付する。PCR 陰性の結果が得られた際には通常検査での *Campylobacter* 属菌の検出結果をメールにて連絡する。

3. 国立医薬品食品衛生研究所から提供する試薬等

- ・ Arcobacter broth base
- ・ CAT supplement
- ・ Bacto agar
- ・ Quick Taq HS DyeMix
- ・ 陽性コントロール用 DNA (*A. skirrowii*、*A. butzleri*、*A. cryaerophilus* の計 3 本)
- ・ プライマー (各 50 µM)

* 注意事項 *

本研究に使用した各機関のお手持ちの消耗品に関しては、相当額の消耗品について年度末にご請求を依頼する予定です。

図 12 研究協力機関へ送付予定の *Arcobacter* 属菌
分離プロトコル (2 ページ目)